



# かがやき

かんがえる  
かんばさる  
かぎ

鳴鼓小学校  
立津町立鳴鼓小学校  
学校だより 第7号

令和4年9月2日  
文責：校長 今井大輔

## 2学期始業式にあたって

1年間で一番長くて充実させられる2学期のスタートに、子供たちへ次のような話をしました。  
・行事を通して成長する。  
・あいさつと返事を心でこたえてできるようになる。  
・もくもく掃除を徹底する。

当然、学習や身体づくりも充実してほしいのですが、全校統一でこの3つのことを鳴鼓小職員と子供たちでがんばる2学期にしていこうと思っています。

## 平和のつどい

8月9日にウオーターフロント公園で「平和のつどい」が行われ、本校から6年の五島心花さん、山下ゆず菜さんが献花、献鶴の代表で参加しました。このような行事へ参加することは、子供たちにとっても良い経験であり、平和について深く考える機会となります。人数制限が解除された際には、ぜひ多くの方に参加していただきたいのです。様子については、ホームページの方で詳しく載せておりますのでそちらをご覧ください。

## 夏休み作品展

子供たちが、夏休み中に製作した作品を手に登校してきました。「これはどこをがんばったの?」と質問するとどの子も熱心に説明してくれました。それだけ作品への思いが強いのでしょう。9月5日〜9月9日の期間、玄関横ホールに展示しております。どうぞご覧ください。

## 新しい机と椅子がきました

2年間に渡って時津町内小中学校の机と椅子が新しい物(少し大きめの規格)に交換されています。この夏休み中に鳴鼓小では、4年生と5年生教室、音楽室、学習室分が新しくなりました。

学校では、児童用の机や椅子は約20年〜40年ほど使用して交換します。今回導入した机や椅子は、今の鳴鼓小児童が大人になって、その子供たちが使用するかもしれない物なのです。そう考えるとよいねいに扱い、大事に使わせたいものです。



写真のように机は一番高く椅子が一番低い位置で梱包した状態で納品されました。子供たちの身長に応じて、本校職員で一つ一つ高さを調整していきました。身長に合った机や椅子の高さにすることは、子供の視力や姿勢のためには必要不可欠です。自分にあった新しい机椅子で気持よく学習に励んでほしいと思っています。

## 嬉しいお知らせ

夏休み中に役場から嬉しい連絡を受けました。前回の学校だよりで紹介した長期休業中帰宅のお知らせの町内放送の件です。

役場へ地域の方から以下のような内容で電話等の連絡があったそうです。「今、夕方に流れている放送を聞いて、とても元気をもらっている。コロナ禍で沈みがちなことが多いが、子供たちの声を聞くと明日もがんばろうという気持ちになれる」「病気がちだったが、声を聞いて元気になった気がする」など、複数の電話連絡や、直接役場まで思いを伝える方もいたそうです。このような連絡をいただいたのは、今の担当者になってからは初めての事だったそうです。その報告を受け、職員一同喜び、とても温かな気持ちになりました。

【お詫び】前回の放送の担当紹介に誤りがありました。正しくは、

夏用：永淵莉愛さん、松田晴斗さん、吉村澄海さん、冬用：酒井薫さん、春用：大槻来莉愛さんです。



ときつの花火 (ハート型)

## つぎやき

今年も時津の花火はきれいだった。いい感じに吹いていた風のおかげで煙が流れ、ずっと花火を鮮明に観ることができた。2年前の「夏まつり中止」のお知らせの時はとても落胆したものだ。「ペーロン」に続き、夏祭りまで「しかし、夕暮れ時に突然の町内放送。「新型コロナウイルス感染症の収束を願う打上げ花火を」と。時津町の「サプライズ花火」の粋な計らいに家族全員の表情が明るくなった。例年、久留里の6工区に見物に行くので、急いで椅子やうらわなどを準備して出かけた。時津町職員の町民を思う気持ちを感じながら花火を楽しませてもらった。

今年も、その「サプライズ花火」も3回目となった。うすうす分かっていても嬉しいものだ。「さて、今年は何時からかな?」と、今年は何時からかな?と、ホームページなどを調べても見つけることができない。「なるほど、サプライズか」と思っている時に「午後7時45分から」の放送。例年より早いと感じた。「ひよっとして明日から学校が始まるから、これも心配りなのかな」と勝手に想像しながらいつもの6工区へ向かった。

今回観た中で、ハート型の花火が綺麗でとても印象的であった。「新型コロナウイルス感染症収束の願い」「サプライズ」という言葉にぴったりの花火であった。

このような粋な計らいは、人の心を和ませ、ワクワクさせてくれる。学校生活や家庭生活の中でちよっとした粋な計らいができるように心がけたいものである。